

空飛ぶクルマの社会実装に向けた東京都の取組



TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT



「東京ベイ e S Gプロジェクト」イメージパース (2021.4公表)



プレゼン内容

- ① 東京都における方向性
- ② 「東京ベイ e S Gプロジェクト」における取組内容
(政策企画局)
- ③ 「社会実装支援」における取組内容
(デジタルサービス局)

① 東京都における方向性

2021.12.8 都議会第4回定例会 小池都知事 所信表明

2022.2 『未来の東京』戦略 version up 2022

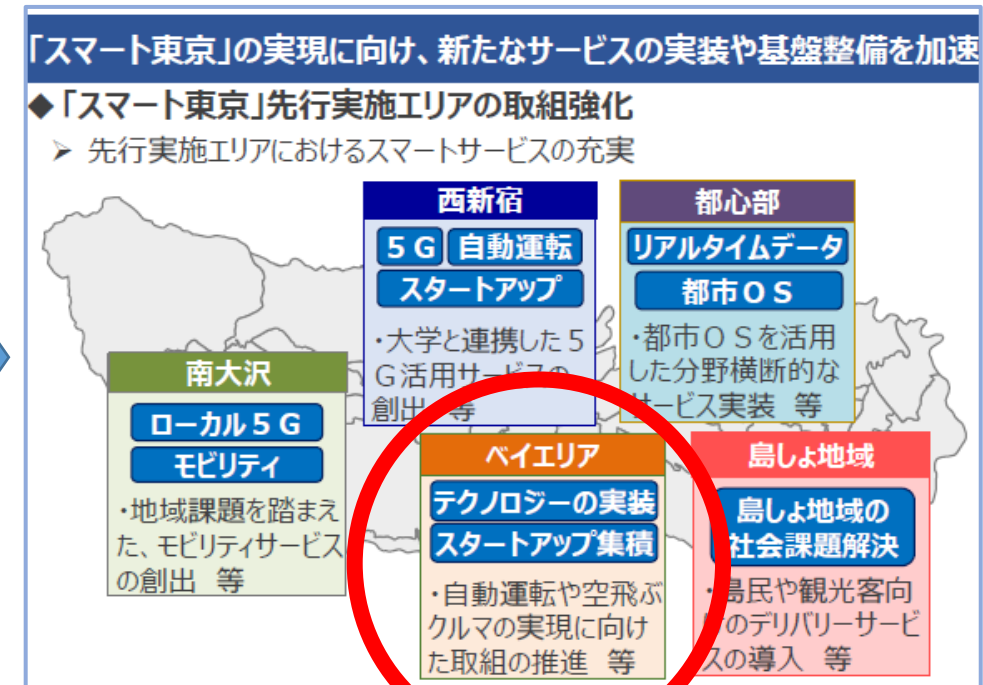
ポストコロナを見据え、デジタルを成長分野に世界の都市間競争はますます激化しております。DX、デジタルトランスフォーメーションをてこに我が国が抱える構造的な課題を克服し、東京が世界から選ばれる都市へと変貌を遂げていかなければなりません。

強い危機感の下で、未来の東京戦略におきましては、デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出して、都民が質の高い生活を送るスマート東京の実現を、目指すべき未来の東京の姿として挙げまして、その実現に向けた戦略を盛り込んでおります。

その戦略には、**空飛ぶ車をはじめとした最先端モビリティの都市実装**や官民のデータを活用した多様なサービスの提供など、二〇三〇年に向けた政策目標を掲げておりまして、**その実現に向け、先行実施エリアにおける様々な取組を強力に推進**をしてまいります。

戦略は、描いて終わりではありません。まさに実践することこそが重要であります。

都の政策の各分野でDXを強力に推進するとともに、都市実装の成果を都内各地に展開していくなど、実効性ある政策を推し進め、世界のモデルとなるスマート東京を実現してまいります。



空飛ぶクルマの社会実装に向けた東京都の取組



TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT

② 「東京ベイ e S Gプロジェクト」における取組内容 (政策企画局)

- 気候変動の危機などを乗り越えた、50年100先の未来の東京を構想する「東京ベイ e S Gプロジェクト」を策定 (2021.4)
- プロジェクトで目指す「自然」と「便利」が融合する持続可能都市の実現に向け、その先駆けとして「先行プロジェクト」を実施
- 『『未来の東京』戦略 version up 2022』(2022.2公表)において、「先行プロジェクト」の今後の方向性を提示 (本ページ)

最先端テクノロジーの巨大実装エリア (中央防波堤エリア)

- 広大な埋立地というメリットを活かし最先端テクノロジーの実装に着手
- 2022年度に事業者を公募・決定

＜実装を図るテクノロジー＞

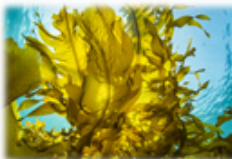
- ・ゼロエミッションの実現に向けた最先端再生可能エネルギー
(例：浮体式太陽光発電、垂直軸型風力発電 など)
- ・エリア内外の移動を充実させる次世代モビリティ
(例：空飛ぶクルマ、マイクロモビリティ など)
- ・サステナブル都市の実現に資するテクノロジー
(例：カーボンネガティブ、アップサイクル、水質向上 など)



最先端再生可能
エネルギー



次世代モビリティ



ブルーカーボン

具体的な取組	2021年度末 (見込み)	年次計画		
		2022年度	2023年度	2024年度
テクノロジーの巨大実装 エリアを活用した実装	事業分野・ 公募要項の検討	事業者選定	インフラ 整備	最先端テクノロジーの実装

プロジェクトが目指すエリアの展開イメージ

- 次世代モビリティや再生可能エネルギー等の**最先端テクノロジーの実装**を図り、東京が目指す**未来のまちをショーケース化**
- テクノロジーの実装だけではなく、**ベイエリアの特長である水辺や緑、大会レガシーも活用し、安らぎやワクワク感を体感でき、みんなが行きたくなるフィールドとする**



※東京ベイ e S Gプロジェクトが目指す理念をベイエリア全体に波及させるために「東京ベイ e S Gまちづくり戦略」が始動 (2022年3月予定)

③ 「社会実装支援」における取組内容（デジタルサービス局）

- 2021年度、東京都は、都内における空飛ぶクルマの社会実装の可能性を探るため、空飛ぶクルマに関する各国の制度整備の動向、国内外の自治体の取組及び都内における実装に当たっての課題等に関する基礎調査を実施。
- 当該調査結果を踏まえ、2022年度以降は、都内において空飛ぶクルマの社会実装を目指す民間企業（コンソーシアム）に対し、支援を実施していく予定。

※ 支援については、年度毎に関連予算が成立することが前提です。

◆ 想定スケジュール

コンソーシアムに対する支援

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
基礎調査（済）	<ul style="list-style-type: none">プロジェクトの公募（7月頃を予定）プロジェクトの選定需要調査ルートの検討	ヘリコプターを活用したビジネス実証（2022年度に検討したルートを飛行）	（国による機体の認証後）空飛ぶクルマを活用したビジネス実証（2022年度に検討したルートを飛行）	コンソーシアムによる社会実装（目標）



③ 「社会実装支援」における取組内容（デジタルサービス局）

◆ 応募の要件（主なもの）

- 都内において、空飛ぶクルマ（eVTOL）を活用したビジネスの社会実装を目標とするプロジェクトであること
- 複数の事業者が連携して実施するプロジェクトであること
- 国や他自治体からの委託や助成等を受けていないプロジェクトであること

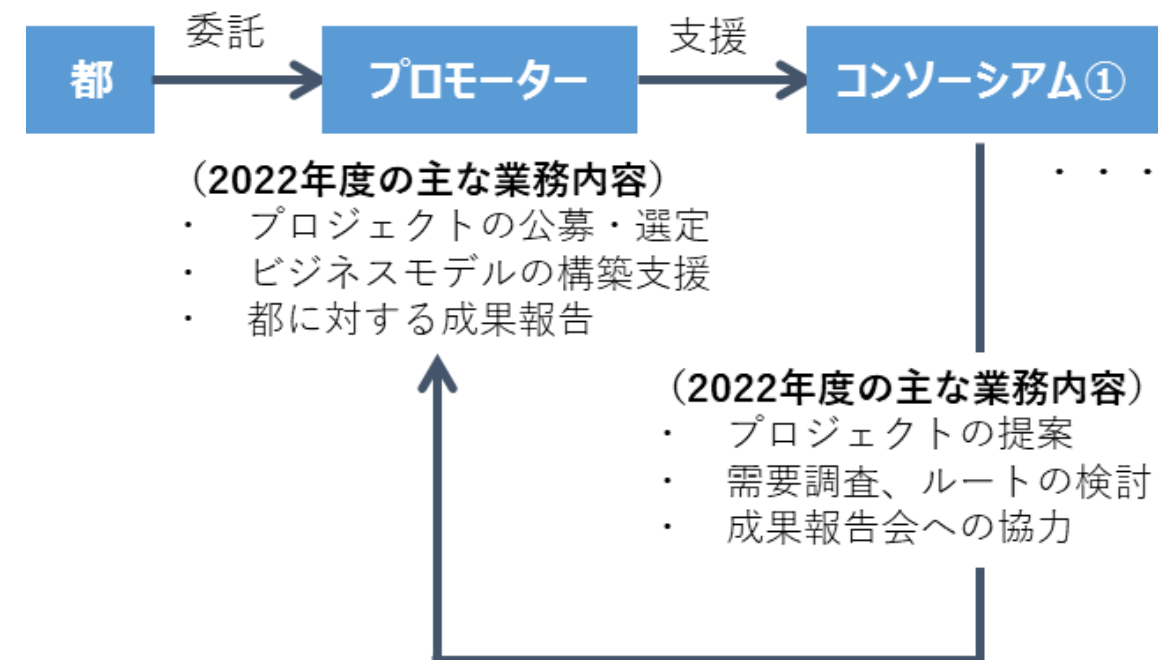
※ 実施するプロジェクトの内容、想定するユースケースは、コンソーシアムの提案によります。

◆ 支援の内容

都は、プロモーターを通じて、各年度においてプロジェクトの実施にかかる費用の補助を行うほか、関係省庁・地元自治体等との調整に関する支援を行います。

また、プロモーターは、プロジェクトの実施やビジネス化に向けた課題の抽出、分析、助言など専門的な見地からの支援を行います。

◆ 事業スキーム





問い合わせ先

政策企画局 計画部 計画課 東京eSGプロジェクト担当
S8000367@section.metro.tokyo.jp (担当：山本、荒川、菩提寺)

デジタルサービス局 デジタルサービス推進部 デジタルサービス推進課
S1100301@section.metro.tokyo.jp (担当：船橋、野村)

関連リンク

『未来の東京』戦略 version up 2022
<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/versionup2022/html5.html>

東京ベイeSGプロジェクト バージョン1.0
<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/esg/html5.html>

東京ベイeSGプロジェクト 今後の取組
<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/versionup2022/index.html#page=80>
<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/versionup2022/index.html#page=81>